

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
694 展示資料充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	博物館法・和歌山市立博物館条例		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	博物館	近藤 壮	423-0003
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		博物館費	
	大・中事業		博物館事業	展示資料充実事業

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 展示及び調査研究に役立てるために、博物館資料の充実を図り、和歌山の歴史に関する資料の蒐集を図ることによって、関係資料の市外流失を防ぎ、市民の財産として確保し、市民文化の向上に寄与する。		全体事業概要 資料購入予算を有効に活用して、博物館資料の購入を行うとともに、広く寄贈を促すことによって、博物館資料の充実を図る。なお、博物館資料は、市民共有財産となるだけでなく、調査研究の対象として、学芸員によって扱われた後、その成果に基づいて展示に供されることとなる。			
	事業内容	平成27年度 館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	平成28年度 館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	平成29年度 館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	平成30年度 館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	平成31年度 館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,000	2,000	2,200	2,150	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
伸び率(%)	-	-	10.0%	7.5%	▲9.1%	▲7.0%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	2,997	2,579	3,647	2,697	2,697	2,018	3,447	3,447	
	正規職員以外	671	468	472	417	417	1,069	556	556	
	小計	3,668	3,047	4,119	3,114	3,114	3,087	4,003	4,003	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他		187	133	299						
一般財源(税等)	2,000	1,813	2,200	1,851	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
所要人数(人)	正規職員	0.39	0.36	0.49	0.35	0.35	0.25	0.43	0.43	
	正規職員以外	0.28	0.24	0.24	0.19	0.19	0.19	0.13	0.13	
主な予算内訳	展示資料の購入2,200千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
成果指標	購入資料件数	件	10	3	30.0%	10	2	20.0%
			10	61	610.0%	10	14	140.0%
			10	34	310.0%	10	34	310.0%
活動指標	寄贈件数	件	10	61	610.0%	10	14	140.0%
			10	34	310.0%	10	34	310.0%
			10	34	310.0%	10	34	310.0%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	調査研究に必要な資料の購入はある程度できているのが、本市の博物館に所蔵すべき資料の中には、高額なものも多く、館蔵資料の充実を進めることにより、より充実した展覧会の開催を行えると考えている。
見直し・改善内容	近年、いわゆる古美術コレクターが収集した資料を手放すケースが増えている。これらは、二つとない和歌山にとって重要な資料であり、これらを散逸させないためにも、購入予算を確保してゆくことが重要である。